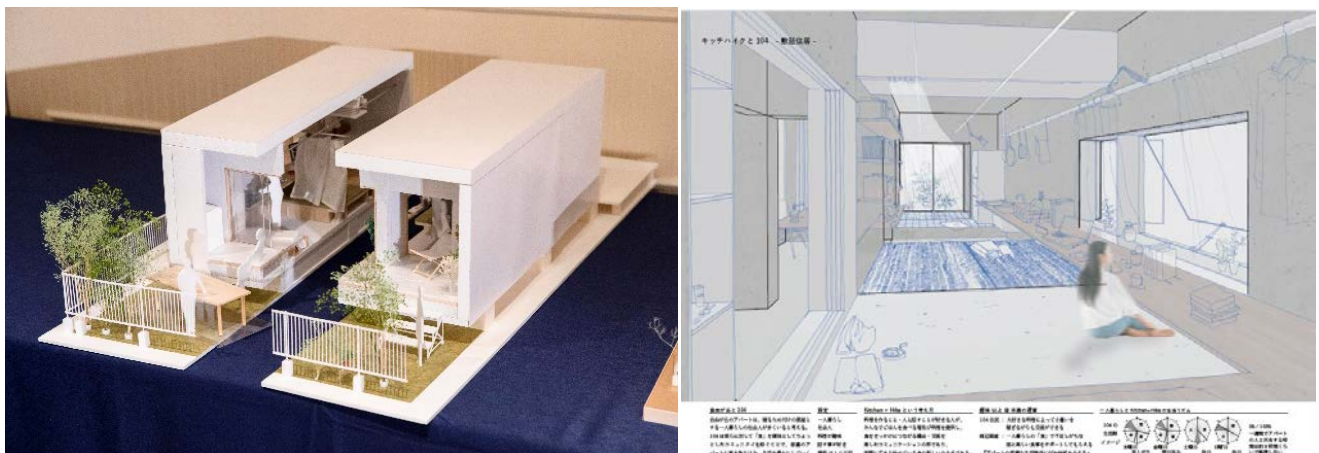


第4回学生実施コンペ「自由が丘」×「すむ+かたち」 最優秀賞決定 作品テーマは「キッチンハイク」！食を通じたコミュニティ空間を提案 ～9月にリノベーション工事を開始、10月に物件完成予定～

新築不動産販売から不動産管理まで、多様な不動産事業を展開する株式会社ラ・アトレ（本社：東京都港区、代表取締役社長：脇田栄一、東証 JASDAQ：8885）が2014年より実施している学生実施コンペ「すむ+かたち」は、住宅設備機器総合商社の株式会社小泉（本社：東京都杉並区、代表取締役社長：長坂剛）との共催となる第4回において、築40年を超える自由が丘の専用庭付き物件を対象にリノベーション案を募り、過去最高となる応募総数157作品の中からファイナリスト6作品を選出し、公開二次審査を実施しました。一次審査を通過した6作品によるプレゼンテーションが行われ、厳正なる審査の結果、最優秀賞をはじめとする各受賞作品が決定しました。このたび最優秀賞を受賞したのは東京都市大学の加藤洲氏・川島俊哲氏の『キッチンハイクと104-敷延住居-』で、キッチンハイク（※）をテーマとし、食を通じた新しいコミュニティ空間を提案し、アパートの希薄な生活関係に付加価値を加えた作品です。最優秀賞に選ばれた作品は9月にリノベーション工事を開始し、10月に物件が完成する予定です。

※キッチンハイク…料理をすること・人と話すことが好きな人が、みんなでごはんを食べる場および料理を提供し、食をきっかけに繋がる機会・交流を楽しむコミュニケーションの形のこと



最優秀作品『キッチンハイクと104-敷延住居-』の模型&提案図

【最優秀賞 東京都市大学・加藤洲氏コメント】

形として残っていく実施コンペに対して、さらにアップデートした案ができればいいなと思い、それが作品の裏テーマでした。以前、ラ・アトレのコンペで優勝した『ハコのある暮らし』が一人暮らしの家を提案していたのに対し、その人のためにある家をもうひとつ用意すると面白いのではと思い、今回この作品を提案しました。

【最優秀賞の審査員講評】

第4回は全体としてレベルの高い回でした。最優秀賞は集合住宅全体に食堂付きのアパートメントという価値が加わったところが評価の一つでありました。また、既存の建築物との対話と計画的な手法によって豊かな空間を作っていくことが今回の大きなテーマでしたが、その両方が同時に見てとれる非常に優秀な作品だと判断しました。キッチンハイクではなかったとしても、タイルが貼ってある窓際や畳の場所といった既存の状況を読み込んだ上で、多くの可能性のある場所を作り出し、既にあるものとの対話により空間を見出していく力がありました。



【公開二次審査の概要】



(株) 小泉 代表取締役社長・長坂剛氏 (左)、東京都市大学 加藤洲氏 (中央)、(株) ラ・アトレ 代表取締役社長・脇田栄一 (右)



各受賞者と審査員との集合カット

二次審査結果 (敬称略)

	作品名	大学名	氏名
最優秀賞 (ゴールド)	『キッチンハイクと 104－敷延住居－』	東京都市大学	加藤 洲 氏 川島 俊哲 氏
優秀賞 (シルバー) 小泉賞	『築 45 年の既存をたっぷりと使い倒し、庭つき窓辺で暮らせるセレクトショップのような私の部屋。棲み始めたらもっと「自由が丘」を好きに。』	東京理科大学	堀越 一希 氏 兼本 祐輔 氏
優秀賞 (ブロンズ) 多田賞	『外廊下とハナレのある家』	京都工芸繊維大学	田中 翔太 氏 獅子島 啓太 氏
優秀賞 (ブロンズ)	『庭にはニワとにわがある。』	共立女子大学	岡 しずり 氏
優秀賞 (ブロンズ)	『母の城 ～繋がりを生む賃貸住宅～』	工学院大学	小川 直人 氏 廣川 大樹 氏 友定 駿平 氏
優秀賞 (ブロンズ)	『shareter share+theater』	秋田県立大学	佐々木 椿 氏 田代 大賀 氏
原田賞	『裸族の家』	千葉大学	小池 真央 氏 佐藤 元気 氏
山道賞	『公的空間の濃淡』	京都工芸繊維大学	竹森 健人 氏 内藤 佑 氏
富永賞	『2つの庭と巡る暮らし』	東京理科大学	丸山 航 氏 小林 寧々 氏 笠原 優一 氏
本多賞	『庭を溜める ～プラントが奏でる庭のカタチ～』	早稲田大学 千葉大学	小林 隆太 氏 根本 悠希 氏
アトレ賞	『内外を繋ぐ小屋』	九州大学	池尻 賢矢 氏

※順不同

【実施コンペ概要】

●審査員 審査委員長 ■原田 真宏 氏 MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO/ 主宰 建築家 / 芝浦工業大学教授 審査員 ■山道 拓人 氏 ツバメアーキテクツ / 建築家 ■多田 君枝 氏 コンフォルト編集長 ■富永 美保 氏 tomio architecture / 建築家 ■本多 健 氏 主宰 本多健建築設計室 / 建築家 ■長坂 剛 氏 株式会社小泉 代表取締役社長 ■脇田 栄一 株式会社ラ・アトレ 代表取締役社長 ※敬称略	●審査・発表等スケジュール 2018 年 4 月 10 日(火) 応募要項発表(終了) 2018 年 6 月 18 日(月) 提案書締切 一次審査(終了) 2018 年 7 月 6 日(金) 一次審査結果発表(終了) 2018 年 8 月 2 日(木) 二次審査 (公開審査+結果発表) 2018 年 8 月～9 月予定 実施設計期間 2018 年 9 月～10 月予定 改装(工事)期間 ●協力 株式会社建築資料研究社 日建学院 ●企画 株式会社 HOOP ●施工 R リフォームプラザ小泉 ●協賛 Satisfill ●共催 人・街・未来へ 小泉 L'attrait
---	--

【施設概要】

所在地	東京都世田谷区奥沢 6 丁目
アクセス	東急東横線「自由が丘」駅 徒歩 6 分
竣工年	1973 年
構造	鉄筋コンクリート造 地上 4 階建
対象物件	専有面積 35 m ² +専用庭 14 m ²
土地面積	315.76 m ²
建物面積	515.25 m ²

【書籍発売】



ラ・アトレ学生実施コンペの書籍
「1/1 イチブンノイチ」(定価:
1,500 円+税)を発売中です。3 年間
の優秀作品 85 作品をフルカラーで掲
載しています。

著者: 本多 健氏
出版社: 株式会社 HOOP

第 4 回 ラ・アトレ+小泉 学生実施コンペ「自由が丘×「すむ+かたち」公式HP

<https://www.sumu-katachi.com/>

■株式会社ラ・アトレについて

ラ・アトレは、フランス語で「魅力」を意味する言葉です。

株式会社ラ・アトレは 1990 年設立。リノベーションマンション事業のパイオニアとして創業 27 年目を迎えました。専門化が進む不動産業界にあって、当社はいち早く事業の多角化に取り組み、新築分譲マンション事業から中古住宅の再生、不動産管理まで全方位の事業ポートフォリオを構築し、「総合不動産会社」として新たなビジネスモデルを確立、多彩な不動産事業を展開しています。社会のニーズと不動産市場全体の流れや変化を的確にとらえ、時代の半歩先を行く魅力ある商品の開発・供給を通じて、皆様の豊かな魅力ある暮らしを実現してまいります。



L'attrait 会社概要

商 号	株式会社ラ・アトレ (英文商号:L'attrait Co., Ltd.)
本 社	〒105-0022 東京都港区海岸1丁目9番18号 国際浜松町ビル5階
札幌支店	〒060-0042 札幌市中央区大通西24丁目2番1号
名古屋支店	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目25番17号 三喜ビル6階
松本支店	〒390-0867 長野県松本市蟻ヶ崎台20番2
大阪支店	〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町3丁目4番15号 心斎橋谷本ビル6階
福岡支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目15番6号 綾杉ビル4階
設 立	平成2年12月15日
資 本 金	483,934,153円 (平成30年3月31日現在)
代 表 者	脇田 栄一 (わきた えいいち)
事 業 内 容	新築不動産販売事業 (デベロップメント業務、新築マンション買取再販業務、販売代理業務、土地企画販売業務)
	再生不動産販売事業 (戸別リノベーションマンション販売業務、一棟リノベーション分譲業務、インベストメントプロジェクト業務)
	不動産管理業務 (サブリース、プロパティマネジメント、アセットマネジメント)
	その他事業 (不動産証券化、その他)
発行済株式の総数	5,275,000株 (平成30年3月31日現在)
発行する株式の総数	17,000,000株
決 算 期	12月
株 式 市 場	東証ジャスダック市場 (証券コード: 8885)

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ラ・アトレ

担当：経営管理部 宮部・末吉 電話：03-5405-7300 FAX：03-5405-7303
本社：〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル 5 階